

表・グラフの活用

表やグラフは、プレゼン資料で頻繁に使われています。表にすることですっきりまとめることができたり、グラフにすることでデータが把握しやすくなったりします。

1 表にまとめる

長い複雑な内容の文章や箇条書きを、簡潔にわかりやすくまとめる方法のひとつに、「表」があります。同じような項目が並んでいる文章や箇条書きの場合は、特に効果的です。

図4.26の箇条書きは、一度読んだだけでは頭に入りません。この箇条書きは、各項目に2つの計画期間とそれぞれの削減率が含まれています。このように共通の項目が多く含まれているときは、表にまとめると比較しやすくなります。

図4.27は、図4.26の箇条書きを表で表現したものです。見比べると、表の効果がよくわかります。

■図4.26 文章によるデータの比較

温室効果ガスの総量削減計画

- ▶ 2010年度を基準年度として、次の計画で温室効果ガスの総量削減を進めます。
 - ▶ 第一計画期間（2015～2019年）では、対基準年度比で、オフィスが8%削減、工場Aが6%削減、工場Bが7%削減
 - ▶ 第二計画期間（2020～2024年）では、対基準年度比で、オフィス、工場共17%削減

■図4.27 表によるデータの比較

温室効果ガスの総量削減計画

- ▶ 2010年度を基準年度として、次の計画で温室効果ガスの総量削減を進めます。

	第一計画期間 (2015～2019年)	第二計画期間 (2020～2024年)
オフィス	8%削減を推進	17%削減を推進
工場A	6%削減を推進	
工場B	7%削減を推進	

PowerPointでは、行数と列数を選択するだけで簡単に整った表を挿入できます。行数や列数は、あとから変更することもできます。

Let's Try

表の挿入


スライドに表を挿入し、文字を入力しましょう。ここでは、5行×3列の表を挿入し、次のような文字を入力します。

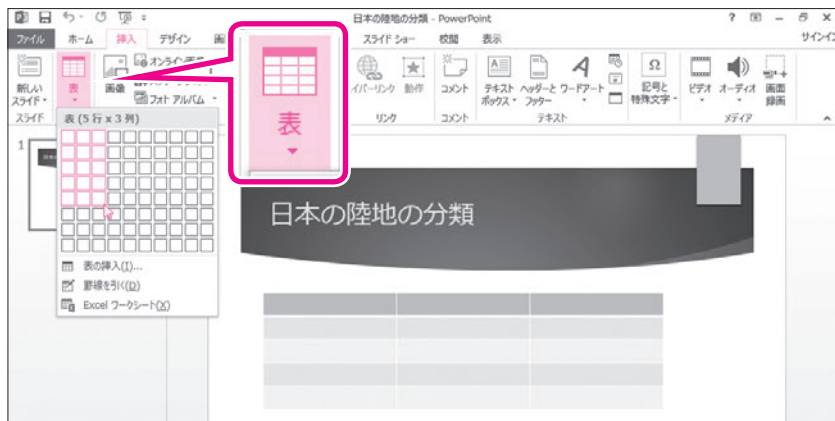
気候帯	地域	森林
亜寒帯	北海道・本州の高山地帯	針葉樹
温帯	東日本から北海道南部にかけて	落葉広葉樹
亜熱帯	琉球列島	常緑広葉樹
熱帯	日本にはない	



OPEN

フォルダー「第4章」のファイル「日本の陸地の分類」を開いておきましょう。

- ①《挿入》タブを選択します。
- ②《表》グループの  (表の追加) をクリックします。
- ③左から3番目、上から5番目のマス目をクリックします。



5行×3列の表が挿入されます。

- ④図のように、表に文字を入力します。



色づかいの基本

プレゼン資料で、スクリーンに投影するデータはカラーで作成します。プレゼン資料は、色づかいの良し悪しで見た目の印象が左右されます。色づかいの基本を理解して、わかりやすいプレゼン資料を作成できるようになりましょう。

1 色の効果とは

適切な色づかいのプレゼン資料は、聞き手の理解を助け、良いイメージを与えます。反対に、色づかいに問題があれば、内容や説明の仕方とは無関係に見る人に誤解を与えたりわかりにくいという印象を与えたりします。

たとえば、図5.1のスライドは、雑然とした色づかいで色を使った効果が活かされていません。内容と色づかいが合っていないのも問題です。「エコ」は一般に緑系の色を使うことが多いのですが、ここではかなり派手な暖色系の色を使っています。矢印を赤で表現しているのも、図解の意味合いや伝えるべき情報の優先度を考えると問題です。

■図5.1 色づかいに問題点があるスライド



図5.2は、色づかいの問題を解消したスライドです。適切な色づかいをすることは、色の基本を理解し、いくつかのポイントを押さえれば、それほど難しいものではありません。色は、理論的に考えて対応することができます。色に対する感性が必要ということではありません。

■図5.2 色づかいの問題点を解消したスライド



PC上で作るプレゼン資料には、自由に色が付けられます。作成したプレゼン資料は、プロジェクターで直接投影したり、カラープリンターで出力して配布したりすることで、情報を効果的に伝えることができます。

PowerPointには、「クイックスタイル」「テーマの色」「カラーパレット」など色に関する機能が搭載されています。これらの機能について、色の理論を背景とした使い方を理解していれば、効果的な色づかいでプレゼン資料を仕上げることができます。

色づかいの基本としては、色の三属性やトーンなどがあります。

1 色の三属性とトーン

色は図5.3に示すように、「有彩色」と呼ばれる色みのあるものと、「無彩色」と呼ばれる色みのないものに分けることができます。赤、黄、緑、青、だいたい、紫のような色が有彩色で、白、黒、グレーが無彩色です。

有彩色には、3つの要素「色相」「彩度」「明度」があります。これが「色の三属性」です。一方、無彩色が持っている要素は明度だけです。この3つの属性を理解することで、効果的な色づかいがしやすくなります。

■図5.3 有彩色と無彩色

